



# 認定特定非営利活動 (NPO) 法人 柔道教育ソリダリティー

## Newsletter vol. 23

### Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①アメリカ・ジョージタウン大学柔道部 ②グラッドスラム東京 ③エルサルバドルでの指導  
④第18回講演会(東京・千代田区) ⑤ロシア・極東連邦大学柔道部 ⑥コーチングセミナー2017広島研修(原爆ドーム)

## 国際的な柔道の普及、「自他共栄」を実現するために

Promoting mutual prosperity through the international spread of judo.

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。国際柔道連盟(IJF)には、201の国と地域が加盟しています(2017年度現在)。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

## 柔道を通し日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

Passing on the spirit of Japanese judo by enabling cultural exchange with various countries.

現在の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

## 今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

Finding the best way to help children develop is what is important now.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日、神奈川県から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。



特定非営利活動法人(神奈川県認定)  
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第23号

2018年3月31日発行 Published 31<sup>st</sup> of March 2018

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 23

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

第18回講演会 細川佳代子「神様からの贈り物」冒頭挨拶より

## 全ての人が交流し、友情を育むことの出来る柔道へ



20年ほど前に細川佳代子さんより、「スペシャルオリンピックスという、スポーツを通じた知的障害者の支援活動を日本でも起こしたい。それを広めて行きたいので賛同してもらえませんか」というお話を頂きました。

私は熊本県の出身で、細川佳代子さんの夫であらせられる細川護熙さんは、日本の元首相であり、長く熊本県知事を勤められた方です。また、細川家は、熊本の細川藩のお殿様であり、細川護熙さんも佳代子さんも、とても親しみのある方々です。「NO」とは言えず「何もお役に立てませんが、私のような者でよろしければ」とお引き受けしたことが、ついこの間のような気がしております。以来、細川佳代子さんは、スペシャルオリンピックス以外にも障害を持った方々を支援する活動を、多くの方々と一緒に、とても精力的に展開してこられました。

私は、2017年6月に全日本柔道連盟の会長に就任しました。私は以前から、21世紀をより良くするためには、女性がより活躍できる社会にしなくてはならないと思っておりました。細川佳代子さんは、まさしくそれを体現されております。全日本柔道連盟も日本の柔道界も、女性がもっと活躍できる、成長できる組織となるべく、皆で取り組んでいます。

そしてもう一つ、全日本柔道連盟では2年前から、日本視覚障害者柔道連盟を中心として様々な支援活動を行っております。先日の全日本柔道連盟の理事会では、2018年1月から全日本柔道連盟の中に知的障害者柔道振興部会を立ち上げることを決定いたしました。中里壮也専務理事と私の間では、出来れば2018年に、全日本柔道連盟として第1回目の知的障害者柔道大会を、スペシャルオリンピックス、あるいは講道館と共催で開催する計画を持っております。この大会は、「1番」を決める大会ではありません。「勝つ喜び」や「負ける悔しさ」を感じるだけでなく、試合を通してお互いの友情を育む場としたいと考えております。

本法人理事長としても、全日本柔道連盟の会長、そして東海大学の副学長としても、社会貢献や国際貢献の視点を大切にしながら、これからも頑張りたいと思っております。

## 主な活動 - Major Activities - (2017年7月～12月)

2017年

7月



リサイクル柔道衣  
30着がモルドバ  
に到着



7月13日、東海大学  
留学生を対象に、柔  
道体験教室を開催



7月22日、特別柔  
道教室を望星学  
塾と共催



7月18～8月8日、  
望星学塾主催の  
SAJ研修を支援

10月



10月3日～17日、ロシア極東  
連邦大学に指導者を派遣

11月



11月16日～12月15日、コーチングセミナー2017を開催

8月



8月26日～27日、望星ス  
ポーツジャンボリーを支援



8月28日～9月11日、エルサ  
ルバドール・コスタリカに指導  
者・学生ボランティアを派遣



8月28日～9月19日、アメ  
リカ(ワシントン・アナポリス)  
へ指導者を派遣



リサイクル畳113枚がパナマ  
に到着



11月23～26日、日中友好青島柔道館10周年記念に  
指導者を派遣

9月



リサイクル柔道衣50着  
がスリランカに到着



9月8日、ロシア極東大学  
柔道部設立



9月11日～18日、モルドバ  
に指導者を派遣

12月



リサイクル柔道衣50着  
がマラウイに到着



12月5日、柔道体験教  
室を開催



12月14日第18回講演  
会を開催

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

## 世界の柔道仲間へ！リサイクル柔道衣・畳を支援



モルドバ

Moldova

2017年7月にモルドバに送付したリサイクル柔道衣60着が、同月に到着しました。



この柔道衣は、後藤商事株式会社の全面協力で、モルドバに輸送しました。贈呈式では、現地メディアの取材が入るなど注目を集めました。



マラウイ

Malawi

2017年8月にマラウイに送付したリサイクル柔道衣50着が、11月に到着。マラウイ日本大使館のご協力の下、柔道クラブに贈呈しました。



## ブランタイヤクラブ

2017年11月4日、マラウイ大学にて贈呈式を開催。カプタマラウイ柔道連盟会長、ンタヤマンジャ柔道連盟南部地域委員長、柳沢日本国大使、鈴木書記官が出席。

## リロングウェクラブ

2017年11月25日、カムズ・インスティテュート・フォー・スポーツにて贈呈式を開催。バンダ・マラウイ柔道連盟事務局長、瀧口理事官、鈴木書記官が出席。

## ムズズクラブ

2017年12月9日、モヤレ・バラックス（北部軍内の道場）で贈呈式を開催。ムソウォヤ国家スポーツ評議会北部地域スポーツオフィサー、ムデ柔道連盟北部地域委員長、クラブコーチ、柳沢大使及び鈴木書記官等が出席。



スリランカ

Sri Lanka

2017年7月、スリランカに送付したリサイクル柔道衣50着が9月に到着。元青年海外協力隊の横山恵理子さんを通して、柔道衣が寄贈されました。

## 横山 恵理子

2017年9月末、柔道衣を載せたコンテナが到着。10月初旬、柔道が盛んに行われているガンボラブディストスクールにて寄贈式が行われました。

寄贈された柔道衣は、リオ五輪に出場したチャーマラ選手の提案により、内戦で両親を亡くし施設で暮らす子供たちのため、子供たちが多数所属する学校へ優先的に配布することとなりました。他の柔道衣は、学校柔道協会を通じて各地区へ配布します。

スリランカは日本を始めとする先進諸国に比べ、柔道をやる環境が整っていません。そのような中、スリランカ柔道初のオリンピック選手が誕生しました。柔道が希望や目標となる大きな一歩でした。そして、この度柔道衣が寄贈されたことは、次世代の子ども達にとり、次のステップアップとなることと思います。柔道衣を提供して下さった方々、無償で柔道衣を運搬してくれたスリランカの民間企業ST.JUDE様に感謝申し上げます。



ガンボラブディスト小学校での贈呈式



運搬に協力して下さった民間企業JUDEの前で



パナマ

Panama

2016年8月にパナマに送付したリサイクル畳が、パナマに到着。Sport for Tomorrow (SFT) プログラムの一環として、パナマ柔道連盟に寄贈されました。

寄贈した畳の半数は、パナマ南部チトレ市のチトレテニスクラブ内の新柔道場建設に使用されました。新道場設立式で、コーチのガゴ氏より「単に技能だけではなく、柔道の精神にとって重要な規律や礼儀の指導にも心がけていく。パナマ選抜チームの指導、強化合宿、柔道指導者育成の研修等も行っていきたい。これらの活動は日本からの畳の供与がなければ実現できなかった。日本大使館はじめ、全日本柔道連盟や柔道ソリダリティー等には心から感謝している」と挨拶がありました。



寄贈された畳を敷いた新道場

外国からの指導者・選手入支援事業

## 7カ国のコーチが参加、コーチングセミナー2017！

2017年11月6日～12月5日の期間、7カ国(イスラエル・パレスチナ・ボスニアヘルツェゴビナ・アゼルバイジャン・中国・ロシア・ポリビア)の指導者を受け入れ、コーチングセミナー2017を開催。光本国際担当師範の指導の下、東海大学を中心に日本の柔道を学びました。

研修初めは東京に滞在し、講道館や全日本柔道連盟の見学、嘉納治五郎師範のお墓参りをしました。その後、東海大学に移動し、光本師範による柔道指導、中西英敏教授、上水研一朗准教授などの授業にも参加。濱名道場の濱名智男先生より投げの形、花岡美智子准教授よりスポーツテーピング法、石田智子先生よりスポーツマッサージ法、今村貴幸医学博士よりリハビリテーション法、高妻容一教授よりメンタルトレーニング法を学びました。また、笹木春光准教授に剣道体験、原田渡居合道部監督に居合道体験教室を開催していただきました。

また、濱名道場(大磯町)、朝飛道場(横浜市神奈川区)、豆蔵道場(東京都練馬区)、望星学塾(東京都武蔵野市)、貫井中学校(東京都練馬区)、雙葉中学高等学校(横浜市中区)、東京都立青島特別支援学校(東京都世田谷区)において研修。柔道グラウンドスラム東京を視察しました。お世話になった皆さまに感謝申し上げます。

### 永昌寺、講道館、 全日本柔道連盟

講道館柔道発祥の地「永昌寺」を見学。全柔連国際課の蒲原光一氏より最新の国際審判法の講義を受ける。



### 東海大学で 研修スタート！

光本健次国際担当師範より、研修の説明、柔道衣の贈呈を受ける。



### 指導スタート

光本国際師範の指導。セミナーの期間、ほぼ毎日行われた。田知本愛さんも参加。



### 朝飛道場

横浜市の朝飛道場を訪問。朝飛大先生のご協力の下、日本の少年柔道の指導を学ぶ。



### 投げの形

世界形選手権大会チャンピオンの濱名智男先生より、投げの形を学ぶ。



### 横浜雙葉中学高等学校

横浜雙葉中学高等学校の柔道部の練習に参加。



### 横須賀学院高等学校

横須賀市の横須賀学院高等学校の柔道部の練習に参加。



### 柔道特別実習

東海大学武道学科、中西英敏教授の柔道特別実習の授業に参加。



## Coaching Seminar 2017

We held Coaching Seminar 2017 from November 16<sup>th</sup> to December 25<sup>th</sup> 2017 attended by 8 judo instructors from Israel, Palestine, Bosnia Hercegovina, China, Russia, Bolivia and Azerbaijan.

### 中学生への柔道指導

東海大学の中学生対象の柔道教室に参加。



### Rehabilitation

常葉大学今村貴幸医学博士よりリハビリテーション法を学ぶ。



### Sports massage

スポーツセラピストの石田智子先生より、スポーツマッサージ法を学ぶ。



### Sports Taping

東海大学体育学部の花岡美智子准教授より、テーピング法を学ぶ。



### 練馬区立貫井中学校

東京都練馬区貫井中学校を訪問。授業や茶道部を見学、柔道部の練習に参加。



### 豆蔵道場クラブ

東京都練馬区の豆蔵柔道クラブの練習に参加。



### 剣道・居合道体験

東海大学にて、剣道及び居合道を体験。



### 広島・京都研修

広島宮島の宮島、広島平和記念資料館、京都の高専柔道発祥の地「武徳殿」などを見学。



### Mental Training

東海大学体育学部の高妻容一教授より、メンタルトレーニング法を学ぶ。



### 修了式

12月14日、研修最終日に修了式を開催。修了証書などを授与。



外国からの指導者・選手入支援事業

## コーチングセミナー2017 研修生からのメッセージ



### オデイ・アリ・スエーブ Oday Ali Mahmoud Thuieb (パレスチナ)

#### 日本は、パラダイスのような国でした

柔道教育ソリダリティーの皆様、山下先生、このような機会を下されたことに、心から感謝します。日本では、たくさんの先生からご指導をいただきました。特に、光本先生からは多くのことを学びました。また今回の研修を通して、たくさんの素晴らしい日本人に会うことができました。広島や京都での研修も大変素晴らしいものでした。特に広島では、全て破壊された状態から、素晴らしい発展を遂げた市内を見て感動しました。日本は世界の国々を多く支援しています。日本人はいつも笑顔で平和に暮らしています。それは素晴らしいと思います。



### モーシェ・ハウーシャ Moshe Havusha (イスラエル)

#### 日本でパレスチナのオデイと友達になれました

私は日本に来ることが出来て心から嬉しい気持ちです。伝統的で美しい場所に行き、たくさんのことを学びました。嘉納治五郎先生が柔道を始めた永昌寺を訪れたことが印象に残りました。世界中からコーチたちが集まったことは、とても嬉しい事でした。日本で皆と友達になることが出来ました。柔道教育ソリダリティーの皆様、このような機会を下され、心より感謝申し上げます。日本で私はコーチとしての技術も向上しました。日本で学んだことをイスラエルの子どもたちに教えたいと思います。



### マルコ・ズリムセック Marko Zrimsek (ボスニア・ヘルツェゴビナ)

#### またお会いしましょう！

このコーチングセミナーは素晴らしい旅のようでした。日本の文化や日本人のライフスタイル、伝統を見聞することが出来ました。一カ月間のセミナーでしたが、それ以上の事を学ぶ事が出来ました。また、この仲間と会いたいと思います。私がいる柔道クラブ“HercegovacMostar”は54年の伝統があります。これからも、私たちの成長をNPOの皆様にお伝えしたいと思います。山下先生、新しい視点で柔道を教えて下さった光本先生、私たちを支えて下さった恵子さん、浩子さん。本当の友達になってくれた浩太郎、Carlos、QiuJiyan、Moshe、Oday、Hana、Zaur、Sergeyありがとうございます！これからが僕たちの友情の始まりです。



### ハナ・ベンカ Hana Benca (ボスニア・ヘルツェゴビナ)

#### 新しい友人に出会えたこと、嬉しく思います

このコーチングセミナーは、私の人生にとって、素晴らしい経験になりました。新しい友達と出会い、皆と一緒に私の柔道の指導法を学ぶことが出来ました。色々なコーチングの方法を知ることが出来ました。この経験は柔道のコーチングだけでなく、私の人生の貴重な時間となりました。  
柔道、日本、皆様、本当にありがとうございました。 I love Judo I love Japan!



### ザウル・ババエフ Zaur Babayev (アゼルバイジャン)

#### 2018年の世界選手権、バクーに是非来てください

アゼルバイジャンから、このような素晴らしいセミナーに参加させて頂いたことに、心からお礼申し上げます。私たちは、柔道だけではなく日本人の心や文化について勉強しました。日本人は平和と友情を愛する国民だと思いました。来年には、我が国のバクーで世界選手権があります。ぜひ、バクーに来て下さい。可能ならば、また、このセミナーに参加したいと思います。皆様の笑顔と幸せが続きますようお祈りします。山下先生、光本先生、お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。



## セルゲイ・セルギーフ Sergey Sergeev (ロシア)

### 日本の柔道がなぜ強いのか、分かったように思います

私は、日本で研修を受けられたことを光栄に思います。東海大学では、たくさんのコーチやアスリートと話し、若い柔道家達がどのような生活をしているかを勉強出来ました。日本では、一本を取る柔道を徹底していること。技の研究を多くし、たくさんの乱取りをしていること。そして、日本の文化と考え方で柔道をしていることを学びました。

山下先生、光本先生、恵子さん、浩子さん、浩太郎、このセミナーに参加するチャンスを与えて下さった皆様に感謝申し上げます。たくさんの友達を作ることが出来ました。これからずっと友達でいたいです。



## 邱紫言 Qiu Ziyan (中国・日中友好南京柔道館)

### 柔道の文化を若い世代に伝えていきたいです

私は、中日友好南京柔道館から来ました。このような研修の機会を与えて下さった皆さま、山下泰裕先生の南京柔道館に対する、ご指導とご支援に、とても感謝しております。日本では毎日感謝の気持ちを忘れずに過ごしました。恵子さん、浩子さん、佐々木さん、鈴木さん本当にありがとうございました！言葉の不安があった私でも、皆さんに支えられ無事セミナーを修了することができました。

光本先生は、言葉だけでなく、いつも実際にお手本を見せて下さいました。真剣に、妥協することなく、細かく教えて下さいます。お会い出来て、本当に光栄でした。柔道の文化を若い世代に伝える事は、品格や道徳を育てることだと思います。長い道のりだと思いますが、日本で学んだことを中国に持ち帰りたいです。ありがとうございました。



## カルロス・ディオニシオ・サンドーヴァル・ヴァカ・ディエス

Carlos Dionisio Sandoval Vaca Diez (ボリビア)

### 文化は違えども柔道を愛する心は同じ

このコーチングセミナーは、私の人生を変えるものでした。たくさんのコーチたちと出会い、色々な違いを見つけました。しかし、文化が違って誰もが情熱を持ち、柔道が好きで、これは皆同じでした。考え方とトレーニングを工夫するだけで、どれだけコーチングが変えられるかを知りました。様々な日本の素晴らしい柔道家に、直接指導して頂き、とても嬉しかったです。憧れの柔道家にも会えました。平和と友情、私たちは、ここで友情を手に入れました。最後に、この柔道教育ソリダリティーを支援して下さっている皆さまに心よりお礼申し上げます。

## 佐々木浩太郎 (日本)

### Gracias, hvala ti, shukraan, תודה, çox sağ ol, Спасибо, hvala ti, 謝謝！

(各国の言葉でありがとう)

私は今回、光本先生のアシスタントとして語学補助を中心にお手伝いさせていただきました。私は学生の頃から、このコーチングセミナーに補助学生として参加していました。光本先生のご指導は、毎年新しいものが加わっていて、今回も新しいことを勉強することが出来ました。セミナーを通し、各国から集まったコーチたちと交流し、新しい仲間も手に入れることが出来ました。

短い間ですが、約1ヶ月共に生活をする中で、何を好み、何を嫌うか。何をしたら喜ぶのか、怒るのか、お互いの違いに気が付きました。国際交流は様々な性格を持つ人々がお互いを理解しようとするところから始まるのだと感じました。そのような経験を、柔道を通して体験出来たことを大変嬉しく誇りに思います。

皆さまの支援により、貴重な体験をすることが出来ました。私はこれから海外で柔道指導をする予定です。それに向けて大変意味深い時間を過ごすことができました。山下先生、たくさんのことを教えて下さった光本先生、そしてカルロス、ハナ、オデイ、モーシェ、ザウル、セルゲイ、マルコ、ジーエンに心よりお礼申し上げます。



一般指導者派遣事業

## アメリカ・アナポリスで柔道教室を開催！

2017年8月28日～9月19日の期間、アメリカのアナポリス海軍士官学校及びジョージタウン大学ワシントン柔道クラブに田知本愛さんを派遣しました。

Ms. Megumi Tachimoto was sent to the Washington Judo Club and the Annapolis Naval Academy over the period of August 28<sup>th</sup> to September 19<sup>th</sup> 2017.



柔道が好きという気持ちが伝わってくるクラブだったそうです

### 「柔道」を違った角度で見て 田知本愛

ワシントン柔道クラブでは、参加者の年齢、職業、技術レベルも様々で、ブラインドの選手も同じように一緒に練習を行っていました。このような柔道クラブに参加したのは、初めてでしたので、とても新鮮でした。ワシントン柔道クラブでは技の説明をしました。練習前に、早く来た選手が、技の研究を効率よく行っている姿を見て驚きました。ブラインドの選手と練習することも初めてで、力の強さ、積極的に技をかける姿勢に、私たちと変わらないのだと感じました。選手たちから、「先生の教え方は、好きだ」「先生と練習することが楽しい」と言ってもらえることもあり、嬉しかったです。

海軍士官学校では、技の説明と練習メニューを考えました。自分の伝えたいことが言葉にできず、苦労しました。乱取り後に、「自分のどこが悪かったか」、「どうしたら強くなれるか」「苦手な相手とどう戦えばいいか」など積極的に質問されました。海軍士官学校の選手は力が強いので、力で技に入ってくるものが多く、バランスを崩すことをあまりしていなかったので、崩しも練習でのポイントにしました。力が強い男子と女子が練習することは、ケガをしないかハラハラしました。しかし、アメリカでは「男子は女子とやる時に、力いっぱい投げないで」等と言うと男女差別になるらしく、気を付ける必要があると、古森さんに教えていただきました。最終日には、「自分自身が、上手くなっていることが実感出来た。ありがとう」と感謝の言葉をスーザンさんの通訳で話してくれる選手もおり、とても嬉しかったです。

どちらのクラブも、熱心に説明を聞き、わからないことをどんどん質問する姿勢に、柔道が好きだということが伝わってきました。海外での柔道指導は、初めての経験でしたが、温かく迎えていただき充実した時間を過ごすことが出来ました。自分が今まで行ってきた「柔道」を海外での柔道指導という経験を通し、違った角度で見ることができました。このような機会を与えて下さった柔道ソリダリティーの皆さま、現地でのサポートをして下さった古森義久様、古森スーザン様、たくさんの方々に、心から御礼申し上げます。

一般指導者派遣事業

## モルドバで柔道教室を開催！

2017年9月11日～18日の期間、大阪成蹊大学教授の村田正夫氏をモルドバ共和国に派遣しました。

Mr. Masao Murata was sent to Moldova from September 11<sup>th</sup> to 18<sup>th</sup> 2017.



了徳寺学園の石川裕紀氏が滞在中、サポートしてくださいました

### 柔道と真剣に向き合う姿に心が熱くなった 村田正夫

9月11日から18日までの1週間、モルドバ共和国を訪問し、現地指導者との研修会、ジュニア・カデット部門を中心とした選手の指導などを実施した。モルドバ共和国は、東ヨーロッパに位置しソビエト崩壊とともに独立した共和制国家である。ヨーロッパ諸国において決して恵まれている国とはいえない。しかし、その中で彼ら一人一人が柔道と真剣に向き合う姿勢には心が熱くなる。今年の2017年サンティアゴ世界カデ柔道選手権大会(チリ)において優勝者を輩出したことは、小国にあって夢を形として現したのだと実感した。

現地での指導は、午前・午後の2回に分けられていた。組み手、崩しの理合い、足技の習得方法、様々なシチュエーションを設定し、部分練習などの紹介を行うとともに、乱取り練習も積極的に実施した。特にジョージアの選手が得意とする、クロスグリップから背中を握る組み手への対処方法や、オリジナルの足技の打ちみは新鮮に感じたようで、活発な意見交換ができた。

指導者向けのセミナーでは、井上康生監督を中心に2016年のリオ五輪でどのようにして結果を出したか、その軌跡について紹介した。参加者は、今のモルドバの現状と未来を、日本柔道に重ね合わせたのか、熱い意見や質問も飛び出し、有意義なやり取りができた。

一方、柔道指導以外の時間は、日本大使館を訪問。駐モルドバ日本国好井大使へ、柔道を通じた国際友好・文化交流についてモルドバでの活動報告を行った。また、本法人より柔道衣100着の贈呈も同時に行った。

1週間という短期間であったが、日本・モルドバ共和国両国における国際友好、柔道の普及・発展はさらに前進したと考えたい。最後に2020年東京オリンピックで彼らの活躍を夢見ながら本報告とする。

一般指導者派遣事業・海外柔道普及支援事業

## 祝贺！ ジューガ！ 日中友好青島柔道館10周年記念！

2017年11月25日、日中友好青島柔道館が10周年を迎えました！ 山下泰裕理事長、光本恵子事務局長を青島柔道館10周年記念式典及び第1回日本総領事杯柔道大会出席のために、派遣しました。

The 10th anniversary of Japan-China Friendship Qingdao Judo Center! Director Mr. Yamashita and Secretary General Ms. Mitsumoto were dispatched to the judo center from November 23<sup>rd</sup> to 26<sup>th</sup> 2017.



10周年記念式典に参加した関係者



記念式典では、演武も行われました

### 10年間でひろがった柔道の心を青島の地に見て 光本恵子（事務局長）

2017年11月23日～26日の間、日中友好青島柔道館10周年記念式典の出席のために、山下理事長と中国青島市を訪問しました。

11月25日、柔道館10周年の記念行事として「第1回日本総領事杯柔道大会」が開催されました。青島柔道館から数百名の子供たちが大会に参加し、中国の青島で柔道が受け入れられ、広まっているのを実感しました。青島市では、青島友好柔道館だけでなく、中学の授業に柔道を取り入れており、柔道館の指導者が中学校に指導に赴き日本式の柔道を伝えているそうです。青島柔道館に足を踏み入ると、子どもたちから明るい挨拶がありました。一人一人頭を下げて大きな声で挨拶をする姿に、私たち日本人に親しみや尊敬の気持ちを持っているのを感じました。道場に入る際は、脱いだ靴を揃える。一礼する。道場を使った後に、自分たちで掃除をする。日本と同じような風景を目にし、ほほえましい気持ちになりました。

10年前にこの場所を訪れた時、ここは卓球場でした。外務省の草の根無償資金協力の支援を得て、柔道館を作ること、その使命感、期待感があつたのを思い出します。私たちのような小さなNPO法人が、中国でどのような支援を出来るのか？ 建物だけの支援になってしまわないのか？ そんな不安があつたのも事実です。柔道館が開館してすぐに、子供たちが5名集まったと報告を受けました。その柔道館が10年経ち、このような素晴らしい活動を行っているのを見て、中国で日本の柔道の心が浸透し、受け入れられていることに、感謝します。

10年の間に、中国では反日感情が高まった時期もありました。しかし、青島友好柔道館の皆さんは、変わらず来日し、私たちと柔道を通じた交流を継続してきました。東日本大震災の際には、徐館長より「何かできることはないか？」とすぐに連絡を頂きました。そこには、柔道が架け橋となつた絆を感じる事が出来ます。

日中友好青島柔道館は開館前より、たくさんの方々から支援を頂きました。そして、開館後も徐館長、王華さん、時峰さんをはじめとするの方々のご努力と、皆さまの支援で素晴らしい10周年を迎えることが出来たと思います。ここに改めて感謝の意を表したいと思います。



現在、300名以上の子どもたちが青島柔道館で柔道を学んでおり、親子で柔道を始めた人もいます。

一般指導者派遣事業・学生ボランティア派遣

## エルサルバドル・コスタリカでコーチングセミナーを開催！

2017年8月28日～9月11日の期間、光本国際担当師範及び学生ボランティアの石崎信太郎さん(国際武道大学4年)をエルサルバドル・コスタリカに外務省と共催で派遣しました。

Our international coaches Mr. Kenji Mitsumoto and our student volunteer Mr. Shintaro Ishizaki were sent to El Salvador and Costa Rica from August 28<sup>th</sup> to September 11<sup>th</sup> 2017.

教え子リチャード氏の夢を聞き涙 光本健次 (国際担当師範)

### エルサルバドル

エルサルバドルはマラスと呼ばれる武装犯罪集団による強盗などの犯罪が首都サン・サルバドルを中心に発生している。到着から出国まで、大使館と柔道連盟のご配慮により、随時2名の警察官に護衛してもらい、安全で安心な中で実施できた。

空港にはエルサルバドル在日本国大使館一等書記官の小谷大介氏と教え子のリチャード君が出迎えてくれた。コーチングセミナーは午前・午後の2回に分け、嘉納師範と柔道の歴史、柔道を通じた国際交流などの講義、基本動作、立技と寝技、護身法、新国際ルールなど、コーチに必要なと思われる指導法を4日間行った。

現地ではセミナーとは別に、リチャード君の街で青少年柔道教室を行なった。道場は畳ではなく、日本で畳の下に引くようなラバーであった。しかし、ラバー自体、あちこちがはがれているような状態で、私たちを迎えるために、子どもたちが、明け方近くまで補修をしてくれていたようである。リチャード君は地元で柔道指導を行いながら、週末には自分の生徒と共に各地域をめぐる、家のない子供、親のいない子どもたちに奉仕活動を行なっている。市長も彼のこのような活動を称賛して、リチャード君に柔道場と恵まれない子供たちの宿泊施設を提供している。

彼の夢は、町議に立候補し、将来は市長になり、自分の町の子どもたちが悪い道に進まないように柔道を教育として教えていくこと語ってくれた。自分に日本に行く機会を与えてくれた山下先生、柔道指導して下さった光本先生の教えです、と語ってくれた彼の言葉に思わず嬉しくて涙が出てしまった。彼の夢に大きな期待を持ちながら、次の訪問国、コスタリカへ向かう。



コーチングセミナー2016研修生のリチャード氏と再会(右)



セミナーは、技術だけでなく柔道の歴史などの講義も行った



コスタリカでは、オリンピック委員会の施設でセミナーが開催された



コスタリカの少年柔道大会で日本柔道の演武と少年規定について指導

### コスタリカ

エルサルバドルからコスタリカまでの飛行時間は2時間程。フアン・サンタマリア国際空港に到着すると大使館一等書記官の河本秀夫氏と教え子のサンチョ君が出迎えてくれた。そのままコスタリカ在日本大使公邸で樋口和喜大使主催の歓迎夕食会に出席した。

コスタリカでのコーチングセミナーは会場が2つに分かれていた。オリンピック委員会の講堂内に仮設の柔道場を設置、もう一つは国立施設内にあるチームの道場での開催だ。セミナーには40～50名のコーチが参加し、夕方5時から休憩も挟んで9時過ぎまで行い、コーチ陣は熱心に受講してくれた。この模様はテレビ放映や樋口日本大使と共に新聞にも大きく報道された。

先日開催されたブタベスト世界選手権には、コスタリカから2名の選手がエントリーした。試合は両選手共に残念ながら2回戦で敗退してしまっていたが、2名の選手は、現在ナショナルチームのコーチをしているサンチョ君の息子である。彼らは、IOCの奨学金を受け、東海大学に留学し、2020年の東京オリンピックを目指すことになっている。コスタリカスポーツ協会も、日本で修行する2人の活躍に大きな期待を寄せている。

コスタリカ最終日には、高校体育館にて少年柔道大会が開催され、多くの観客と子どもたちが出場していた。この大会では、日本柔道のパフォーマンスと少年規定の指導を行った。2週間のセミナーであったが、両国における柔道の普及・発展に大きな期待を持たた。NPO法人柔道教育ソリダリティーの3つのスローガンでもある柔道・友情・平和の旗は、ここエルサルバドルとコスタリカでも、大きくたなびいていたことをご報告したい。

## 多くの人々と海を越えて繋がりました 石崎信太郎（学生ボランティア）



エルサルバドル滞在中は、大使館に全面協力いただきました



セミナーのために選手たちが補修したエルサルバドルの道場

### エルサルバドル

8月28日にエルサルバドルに到着しました。空港にはエルサルバドル日本大使館の小谷さんが迎えに来て下さいました。翌日、エルサルバドルの樋口大使を表敬訪問。そして翌日、サン・マルティン市の柔道場で少年柔道教室を行いました。参加者は約30名。畳ではなくヨガマットのようなものが敷かれた体育館で、私は畳以外で初めて柔道を行いました。柔道指導やパフォーマンスで緊張することはなかったですが、光本先生の指導のスピードについていくことが出来ず、あふたした場面が何度かありました。そんな時、光本先生から「この子たちに指導できるのは今日だけだ！120%出し切って悔いの残らないように全力で頑張ろうな！」と言われ、気合が入りました。

4日目からコーチングセミナー開始です。セミナーは指導者育成が目的ですので、必然的に対象者の年齢も上がります。私より何歳も年配の方に柔道を教えことに変な感じがしました。エルサルバドルの方々とはとても熱心にセミナーを受講されており、50歳、60歳とご年配の方でも全てのメニューをこなしていました。私を感じたことは、みんなが楽しそうに受講されていたということです。同年代の日本人の指導者なら避けそうな、ラダートレーニングや、ボールを足の裏でコントロールするゲーム、フラフープでの体さばきの練習なども、皆さん楽しんで受講されていました。

私は競技と同時に「投の形」の稽古もしております。セミナーでは、「投の形」の講習と「IJFの新ルールの説明」を担当しました。私よりも年配の方々の前に立って指導をするという貴重な機会でしたので、少し緊張しました。当日、不安もありましたが、皆さんとても熱心に受講して下さい、指導を楽しんで出来ました。セミナーの修了式を受講生の自宅で行いました。受講生の皆さんから「ありがとう」と言われ、とても達成感がありました。

エルサルバドルは危険な地域と聞いておりましたが、大使館に隣接したホテルに滞在し、移動には常に警察官が同行して下さい、危険を感じることはありませんでした。現地の柔道連盟や大使館のサポートがあつての安全だったと強く感じました。本当に感謝しています。

### コスタリカ

コスタリカ到着日に表敬訪問。翌日より、コーチングセミナーが始まりました。コスタリカでは、コーチングセミナーが夕方から夜にかけて、通しで行われました。17時から21時の間に少し小休止を挟むだけで、セミナーの1コマの時間が長く集中力を持続させるのが大変でした。コーチングセミナー初日の会場はコスタリカのオリンピック委員会の講堂でした。コスタリカのセミナー参加者は、エルサルバドルより比較的若い指導者の方が多かったです。私と歳が一つしか変わらない方でも、クラブチームのコーチをしていると聞いて驚きました。「私ももっと頑張って、自信を持ち人の前に立てるようにならなければならない」と感じました。

4日目には、記者会見を受けました。会見では「柔道を始めたきっかけ」や「柔道の難しさ」などの質問を受けました。このような正式な記者会見は初めてのことで、とても良い経験が出来ました。最終日はコスタリカのコロナド市で、緑帯以下の柔道選手の大会がありました。コスタリカでのセミナー受講生のほとんどが、この試合に、監督や審判などで携っていました。新ルール説明の時に、受講生の方から多くの質問を受けました。積極的な姿勢で講義を聞く皆さんを前に、緊張しましたが、やる気も出てより良い講義が出来たと感じました。

少年柔道大会の開会式後に、「武道演武をすると良いのではないかと」光本先生より提案を受け、急遽演武をしました。これがとても好評で、中には「かっこよかった！」と直接言ってくれた子もいました。

今回このような機会をいただき、柔道教育ソリダリティーの皆さま、たくさんの方の協力の下、無事にセミナーを終えることが出来たことに心から感謝しております。光本先生は「良い指導者でなければ生徒に信頼されない」とおっしゃっていました。それを聞いて、私も良い指導者になれるように日ごろから努力しなければならぬと感じました。今回のセミナーで私が一番強く感じたことは「柔道の素晴らしさ」です。柔道をこれまで続けてきたから、このようなたくさんの貴重な経験が出来るようになりました。海を越えて多くの人々と繋がることが出来ました。言葉が通じなくても柔道でコミュニケーションを取り、友情を築けることをとても嬉しく思います。

これらもこの経験を活かしNPO法人柔道教育ソリダリティーのスローガンにもありますように、柔道指導を通して友情を築き、世界平和に貢献できる柔道家、指導者を目指していきたいです。



コスタリカ伊藤嘉章日本国大使と共に、現地取材を受けました



少年柔道大会の演武後に、コスタリカの柔道少年と

海外柔道普及支援事業

## ロシア・極東連邦大学に柔道部が設立！

2017年9月8日、ロシア・ウラジオストクで行われた柔道部設立式に、浅井信幸ロシア国際交流担当を派遣しました。同日、ロシアで行われた嘉納治五郎杯に参加した山下理事長も出席しました。



山下理事長が、FEFU柔道部設立のテープカットに参加



FRFU柔道部に語る山下理事長

Our Russian exchange representative Mr. Nobuyuki Asai visited Far Eastern Federal University on September 8<sup>th</sup> 2017.

### 極東連邦大学 (FEFU) 柔道部設立式 浅井 信幸 (ロシア交流担当)

ロシアのウラジオストクで開催された「嘉納治五郎記念ウラジオストク日露ジュニア柔道大会 (The Annual International Vladivostok Jigoro Kano Junior Judo Tournament)」に参加するため、山下理事長と共に現地入りしました。2017年9月8日、本法人と東海大学の支援で設立された極東連邦大学 (FEFU: Far Eastern Federal University) 柔道部の記念式典に参加しました。式典では、山田清志東海大学学長とニキータ・アニシモフFEFU学長が柔道教育分野の協力に係る協定書に署名。その後、小松親次郎文部科学審議官、アレクサンドル・ヤシン沿海地方柔道連盟会長、山下泰裕理事長を加えてテープカットが行われました。

道場内に場を移し、上記大会に参加した日本選手と現地選手とで乱取が行われました。ジュニア時代をウラジオストクで稽古に動んだトメルラン・トメノフ・ロシア柔道連盟副会長 (アテネ五輪銀メダリスト) も加わり、日本選手と組み合わせました。

記念撮影後、山下理事長より日露の若者にメッセージを送りました。「私の尊敬するプーチン大統領は、柔道は単なるスポーツではなく、人生の哲学だと常々話している。柔道は勝つことも大切だ。しかし、勝ち負けだけにとらわれるのではなく、柔道で学んだものを人生に活かしていくこと。柔道を通して日露の若者、世界の若者が、友情を育み平和への道を行んでいくことを期待している」と述べました。今後も、FEFU柔道部を支援していきます。

海外柔道普及支援事業

## 極東連邦大学柔道部に指導者を派遣！

2017年10月3日～17日、ロシア・極東連邦大学に東海大学のご協力の下、光本健次国際師範、浅井信幸ロシア国際交流担当を派遣しました。派遣に合わせ、畳216枚、柔道衣103着をJTのご支援により寄贈しました。

Our international coaches Mr. Kenji Mitsumoto and Our Russian exchange representative Mr. Nobuyuki Asai were sent to the FEFU Judo Club from October 3<sup>rd</sup> to 17<sup>th</sup> 2017.



FEFU柔道場の建物の前で



本格始動したFEFU柔道部の皆さんと練習後に

### 嘉納治五郎師範の哲学の下に 光本健次 (国際担当師範)

2017年9月の東方経済フォーラム閉会后、ウラジオストク・ルースキー島にある極東連邦大学で柔道部が発足した。東海大学の山田清志学長が柔道部創設に関する協定にサインをし、極東連邦大学の悲願だった柔道部創設の実現となった。極東連邦大学のアニシモフ学長は「柔道部創設によって、大学におけるスポーツ発展と、日露関係の強化をうまく結びつけることができました。日本で柔道を積極的に推進している、東海大学とのパートナーシップのおかげです」と喜びを語っていた。

今回、本法人と東海大学の協力により、極東連邦大学柔道部に国際担当師範及び東海大学体育学部教授として派遣されることとなった。10月3日～17日までの2週間、極東連邦大学に滞在し、学生に「柔道と国際交流」の講義や、放課後には柔道部の実技指導などを毎日行なった。

ロシアは柔道競技種目においては、日本のライバル的存在になる国。しかし、大学教育活動の中に日本の伝統文化でもある柔道が導入されたことは、柔道が単なる競技ということだけでなく、教育としても認められたように感じ、大変嬉しく思っている。

東方経済フォーラムに集った各国首脳のうち、ロシアのプーチン大統領も、モンゴルのバトトルガ大統領も柔道家である。柔道は単に勝敗のみを競うのではなく、心身を高め、それを日常生活に生かす。そして、良い人生、良い社会を作ることに貢献するためにある。それが柔道創始者、嘉納治五郎師範の哲学だと山下理事長も言っている。私たちは、ロシアで柔道がさらに多くの学生にとって親しまれるものになるように努力し、柔道から心身ともに充実した健全な学生がこの極東連邦大学から大きく育ってくれることを願っている。

講演会・シンポジウム事業

## 第18回講演会「神様からの贈り物」を開催

2017年12月14日、第18回講演会「神様からの贈り物」及びコーチングセミナー2017修了式を開催いたしました。



第18回講演会で語る細川佳代子さん



講演会後に、コーチングセミナー修了式を行いました

The 18<sup>th</sup> lecture “A Gift from God” and closing ceremony of coaching seminar 2017 were held on December 14<sup>th</sup>.

2017年12月14日、東京都千代田区の霞が関ビル35階東海大学校友会館にて、細川佳代子さんを講師に招き、第18回講演会「神様からの贈り物」を開催しました。師走の忙しい中にもかかわらず、約80名の聴講者が集まりました。

細川さんは、日本で初めてのスペシャルオリンピックスを熊本で立ち上げた経緯を語りました。熊本の新聞に載った笑顔でメダルを持つ女の子を見て驚き、それが、スペシャルオリンピックス設立のきっかけになったこと。「障害を持つ方々は、周りの人間が優しさを思い出すきっかけを与えてくれる。生まれてこなければ良かった命などなく、皆生きている意味がある。そうならば、障害を持つ人々が笑顔で生きられるようにしたい」と笑顔で細川さんは語りました。

スペシャルオリンピックスを立ち上げた25年前は、日本での障害者支援と言うと、施設を建てるのが主で、スペシャルオリンピックスを広めることがとても難しかったこと。そんな中で、たくさんの方々の支援があり活動の輪が広がり、数年後にスペシャルオリンピックス世界大会を熊本に招致できたことなどを話されました。「スペシャルオリンピックスに関わる中で、日本中に素晴らしい友人が出来、豊かな人生を歩むことが出来た。それをもたらしてくれた障害を持つ皆様に感謝している」と述べられました。

講演会の後には、コーチングセミナー2017の修了式を行いました。セミナーの研修生が、一人ずつ練習した日本語でセミナーの感想を発表しました。その後、山下理事長より修了証書が送られました。

留学生柔道体験

## Let's Enjoy Judo! 柔道体験教室を開催

2017年7月13日、東海大学主宰のTokai Cool Japanに参加していた留学生20人、12月5日、モスクワ大学の留学生を対象に柔道体験教室を開催しました。

Trial judo classes for foreign exchange students were held on July 13<sup>th</sup> and December 5<sup>th</sup> 2017.



### ポロムラック・ガセムジット (タイ)

初めて柔道をしました。短い時間でしたが、とても楽しかったです。どうやって倒れると痛くないか、敵を捕まえる方法など。それからゲームをしました。その後、小さな勝負を先生方としました。光本先生は最強で、私は何もできませんでした。女性の遠田先輩もとても強かったです。今回の体験教室をして柔道に興味を持ちました。タイに帰ってからも柔道を勉強したいと思います。

### リム・ジャニス・ファイイー (マレーシア)

プログラムの中に柔道クラスがあると知った時、とても嬉しかったです。柔道クラスでは、自分を守る方法を学びました。光本先生は、優しく我慢強く、面白い人です。私はこのクラスがとても好きで、日本の文化も好きです。異文化を学ぶ良い機会となりました。



光本健次国際担当師範の指導の下、楽しそうに体験授業を受ける留学生たち

### ブンコーワ・ダリーナ ロシア (モスクワ大学)

柔道の授業は素晴らしい体験になりました。柔道を通し、日本文化や日本人の考え方を深く知ることが出来ました。授業中に新しい動きを練習し、友達がたくさん出来き、当に嬉しかったです。先生たちに、心から感謝しています。ロシアへ帰っても絶対に柔道をやりたいと思います。

### リシツァ・アルチョム ロシア (モスクワ大学)

子供の頃から日本の武道に対して興味があったので、量に実際に立てたことを嬉しく思っています。先生は、姿勢やお礼、柔道の技などを詳しく教えて下さいました。授業は友好的な雰囲気で行われました。この経験から、日本の文化について知識を深めることができました。ロシアで柔道は人気がある武道です。多くのロシア人は、柔道が生まれた日本を訪れるという希望を持っています。私は日本とロシアが、柔道の分野で協力を強化し続けると望んでいます。

柔道教室（国内外）

## Study Abroad Japanを支援



SAJ研修の一環として東海大学を訪問した参加者たち

2017年7月18日～8月8日、Study Abroad Japan with Judo 2017(SAJ研修)を東海大学望星学塾と共催しました。

From July 18<sup>th</sup> to August 8<sup>th</sup> 2017 we held “A Joint Study Abroad Japan Project” with Tokai University Bosei Gaku Juku.

2017年7月18日～8月8日の期間、望星学塾主催の国際親善週間のプログラムの一環であるStudy Abroad Japan with Judo 2017(SAJ研修)を支援しました。湘南校舎で行われた研修で、東海大学の学園オリンピックや同大学付属高校の合同練習に参加しました。

柔道教室（国内外）

## Special Judo Lesson



望星学塾で行われた特別柔道教室

2017年7月22日、デンマークより指導者を受け入れ、特別柔道教室を開催しました。

The special Judo lesson was held by Danish Judo coach on July 22<sup>nd</sup> 2017.

2017年7月22日、デンマークよりトニー・モーテッセン氏、ラース・モーゴー氏を迎え、望星学塾と共催で特別柔道教室を開催しました。望星学塾生、SAJ参加者など60名がデンマークの技の掛け方、極め方を学びました。

柔道教室（国内外）

## 望星スポーツジャンボリーを支援



東海大学湘南校舎の柔道場で開催されたスポーツジャンボリー

2017年8月26日～27日、第5回望星スポーツジャンボリーを共催しました。

The 5<sup>th</sup> Bosei Sports Jamboree was held on August 26<sup>th</sup> and 27<sup>th</sup> 2017.

2017年8月26日～27日、東海大学湘南キャンパスで第5回望星スポーツジャンボリーを望星学塾と共催しました。後援に東海大学スポーツ教育センタースポーツ課、東海大学体育学部武道学科、松柔会・東海大学柔道部OB会から支援していただきました。子供たちに柔道を教える普及団体9団体174名が参加しました。

海外柔道普及支援事業

## IOCオリンピックソリダリティーアスリート



東海大学入学式後に山下理事長と

IOCオリンピックソリダリティー奨学生のイアンさん、フリアンさん、エルビスマーさんが、2017年9月に来日しました。

IOC Olympics Solidarity Scholarship athletes Ian Sancho, Julian Sancho (Costa Rica) and Elvismar Rodriguez (Venezuela) came to Japan.

国際オリンピック委員会オリンピックソリダリティー奨学生のサンチョ・イアンさん(コスタリカ)、サンチョ・フリアンさん(コスタリカ)、ロドリゲス・エルビスマーさん(ベネズエラ)の3名が、2017年9月に来日しました。3名は、東海大学に入学し、柔道だけでなく、日本語や日本文化なども学びながら、柔道選手として東京オリンピックを目指します。

## 実施事業

2018年1月～

### 外国への指導者派遣事業



2018年2月～3月、ボツワナ「井坪先生記念道場」へ一般指導者を派遣しました。

General instructors were sent to 'Sensei Itsubo Memorial Dojo in Botswana from February to March 2018.



2018年夏、トルコ・アンカラ、難民キャンプに、一般指導者を派遣する予定です。

We will send a general instructor to a refugee camp in Ankara, Turkey during the 2018 summer break.

### 国際青少年柔道大会



2018年3月、復興支援全国高等学校柔道錬成三春大会を支援しました。

We offered support for the Reconstruction Assistance National High School Judo Miharuru tournament in March.



2018年4月、越谷北ロータリークラブ杯柔道大会に参加するインドネシア・バリ島チームを支援します。

Children in Bali Indonesia will visit Japan in April to take part in the 2<sup>nd</sup> Koshigaya-kita RC youth Judo Competition.

### リサイクル柔道衣・畳支援事業



外務省、国際交流基金等と協力し、柔道用具を送付します。現在、キリバス、ボツワナ等へリサイクル柔道衣を送りました。

We are donating judo tool in cooperation with the Ministry for Foreign Affairs, the Japan Foundation and the SFT program. At present we are sending recycled judo wear to countries such as Kiribati and Botswana.

### 留学生柔道体験教室



2018年3月、東海大学などの留学生を対象に柔道体験教室を開催しました。

We hold trial judo classes for exchange students in March 2018.

### 講演会事業



2018年6月、第19回講演会を開催します。

In June 2018 we will hold our 19<sup>th</sup> Lecture.

### IAJR支援



イギリスより柔道研究者を招き、柔道指導者の日本滞在を支援します。

We will support British Judo teachers' accommodation while they are in Tokai.

### 第19回講演会

#### 「戦争とスポーツの間で」



2018年6月14日(木)、ホテル インターコンチネンタル東京ベイにて、元国連事務次長・公益財団法人国際文化会館理事長の明石康氏を講師に招き、第19回講演会を開催します。

### 公式 Face bookのご案内

本法人の公式フェイスブックです。ホームページ更新やイベントのお知らせなど投稿しています。是非、ご覧下さい。



柔道教育ソリダリティー

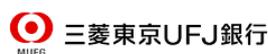
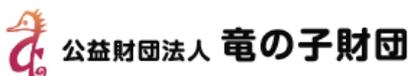


# 2017年度 寄付・団体会員一覧

— Supporters — 2018年2月28日現在



USP 内海晴和企画株式会社



三井物産(株)、羽田タートルサービス(株)、日本たばこ産業(株)、(学)東海大学、内海晴和企画(株)、(公財)竜の子財団、ミズノ(株)、早川繊維工業(株)、秀和ビルメンテナンス(株)、(株)豆蔵ホールディングス、アスカコーポレーション(株)、(株)神田製作所、大成建設(株)、(株)わくわくコーポレーション、(株)小松製作所、(公財)東京コミュニティー財団・ファンドクリエーション基金、三井住友海上火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行

(株)アイデア、アスカコーポレーション(株)、(株)アットライズ、石井化成工業(株)、(株)いろいろ、植木会計事務所、(株)上原不動産、(株)ウージンジャパン、(株)エスアールシー、(株)S・Yワークス、大峰堂薬品工業(株)、(株)小郡衛生公社、(株)小田原百貨店、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、(株)カトー、神奈川県柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、九州医療スポーツ専門学校、共和電子(株)、京王電鉄(株)、NPO法人健康コミュニティすおか、(株)ゲン・テック・ホールディングス、(株)興徳クリーナー、(株)廣洋、相模トライアム(株)、(株)鈴廣蒲鉾本店、(一社)星槎グループ、(株)成通、総合警備保障(株)、タカインターナショナル(株)、(株)タムラ製作所、(株)ダイナミックスパースンズ東京、(株)築地すし好、田園調布内海商店、東海ウイング(株)、東海教育産業(株)、(株)東海ビルメンテナンス、(公財)東京都柔道連盟、(医)徳真会グループ、トランス・コスモス(株)、(一社)日中柔道文化研究会、(公社)日本柔道整復師会、日本たばこ産業(株)、日本駐車場救急サービス(株)、日本BS放送(株)、(医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、浜友観光(株)、(株)パロマ、ヒューマンズ・ネット(株)、(株)フォーラムエイト、富士ゼロックス神奈川(株)、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、(株)マルヤナギ小倉屋、(株)ミツウロコビバレッジ、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、(学)メイ・ウシヤマ学園、NPO法人勇気の翼インクルージョン、横浜市柔道協会、(株)ランクアップ平野屋、(株)レイクウッドコーポレーション、(株)レンブラントホールディングス、(株)わかば

	個人	団体
正会員	260	52
寄付	35	32

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp>

量支援: 石井化成工業(株)、東海大学付属市原洋高等学校、東海大学付属高輪台高等学校・中等部、山手学院中学校・高等学校

(50音順)

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月より神奈川県認定を受けております。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります(認定有効期限: 2019年1月26日)。本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありませぬ

- 郵便振替 口座記号番号: 00200-7-37175 加入者名: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
- 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953  
口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕  
トクヒ) ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ
- 横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726  
口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕  
トクヒ) ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ